

ご意見やご要望など、お気軽にご連絡して下さい。

山形県鶴岡市山五十川甲571番地
TEL (FAX) 0235-45-2161
携帯 070-5058-3518
E-mail : honma3@eos.ocn.ne.jp

現在 ■ 新政クラブ幹事長 ■ 厚生文教常任委員会副委員長
■ 議会運営委員 ■ 田保運営協議会委員

平成21年12月定例会 主な私の一般質問

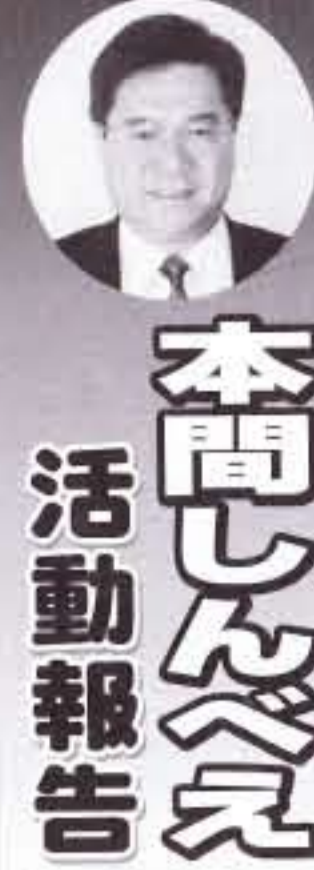
農林水産業の振興の推進を!

質問 ・ 県が示した農林水産業元気再生戦略について伺う?

《答弁》 農林水産部長

・ 元気再生戦略の一つが地産地消の推進、販売力の強化。二つ目が食の魅力発信と山形ファンの拡大。三つ目が需要に応える生産力の向上である。この支援策として、農林水産業創意工夫プロジェクト支援事業と、山形農商工連携ファンドを立ち上げた。本市の事業推進に、これらを活用していく。

活動報告書 第10号の発刊にあたり
今年の春の天候は異常である。寒い日が続いたと思えば急に暖かな日が続く、そしてまた寒い日が続く。風邪などを患っておられる方もいると思うが、農業においてもその影響が心配される。世界的な気候変動の現われなのか? 四季の変化が、日本人の情緒を醸し出してきたと言われる。寒い時には寒く、暖かな時には暖かい、そんな天気を望む。昨年10月の市議会議員選挙から7ヶ月が過ぎました。この間の私の議員活動の一端を皆様にご報告します。今後も皆様のご指導、ご協力を心よりお願い致します。



本間しんべえ
活動報告
第10号
2010年6月吉日

平成22年3月定例会 主な私の総括質問 (会派の代表質問)

安全で安心な暮らしのために!

質問 1. 自然災害の対応など、危機管理について?
2. 今後の本市の除雪体制について?

《答弁》 ...市長

1. 避難場所確保計画を基本として対応する。安全な暮らしを確保するために、防災体制、防災基礎の強化に努めていく。
2. 除雪機械の確保、委託条件の改善、除雪方法の研究などに力を入れていきたい。市民の協力も不可欠であるとする。

総合的な行政経営の推進を!

質問 ・ 本市の中長期の行財政改革の方向性は?

《答弁》 ...市長

・ 今後も議員の定数適正化計画を進め、業務の民間委託も図っていく。新年度に行財政改革推進委員会を設置し、行財政改革大綱を策定する。

より良い子どもたちの教育環境の整備を!

質問 1. 今後の学校改築事業と耐震化事業について?
2. 特別支援教育の体制は?
3. 新学習指導要領に伴う学校教育の課題は?

《答弁》 ...市長

1. 平成22年度の学校改築事業は朝陽一小、大山小、朝陽四小、羽黒中学校の整備を進める。耐震補強事業は、福栄小、由良小、斎小の屋内運動場を計画している。

《答弁》 ...教育長

2. 保育園、幼稚園、学校、医療、福祉の関係機関と連携し、幼児期から一貫した支援体制作りを進める。教育委員会には、特別支援教育の専門的な担当指導主事を配置する。
3. 課題としては授業時数の確保、年間指導計画の作成、教材の確保、教員の研修機会の確保などである。本市の教育の目標である、「たくましく」「やさしく」「かほこさ」を育むことが基本であり、本市の特色のある教育を進めたい。



木のぬくもりを感じる朝陽一小小学校

市民と協働のまちづくりを!

質問 1. 中心市街地のまちづくりの方向性は?
2. 今後の公共物の維持管理について?

《答弁》 ...市長

1. 中心市街地の課題として、空洞化対策や景観形成が上げられるが、まちづくりには市民の参加が不可欠であり、行政と協働のまちづくりを進めたい。
2. 今後、計画的な維持管理が必要であり、今年度から市有の建築物や橋について調査し、下水道施設については新年度から長寿命化計画を策定する。

市民の健康と福祉の向上のために!

質問 ・ 総合保健福祉センター(にこ♥ふる)を拠点とした今後の保健、福祉のとりくみについて?

《答弁》 ...市長

・ 健康づくりの拠点となる「保健センター」、子育てに係わる「子ども家庭支援センター」や、障害者の相談窓口となる「障害者相談支援センター」を設置する。また、「休日夜間診療所」と「休日歯科診療所」をセンター内に設け、患者さんに対応する。薬も院内処方となる。一方、検診受診率日本一を目指し、特にがん検診受診率向上のための対策を進めます。



総合保健福祉センター「にこ♥ふる」

具体的な産業振興策の推進を!

質問 ・ 農林水産業の生産、加工、流通の6次産業化など、産・学・官(産業と研究機関と行政)の連携による産業政策について?

《答弁》 ...市長

・ 農工商連携総合推進協議会(農林水産業、商業、工業、観光業)を設置し、民間と行政との連携を推進する。また、世界の最先端の研究を行っている慶応大学先端生命科学研究所の研究成果を、食品分野や医療分野、環境分野などの産業化につなげていく。



山形県立研究開発センター(中央南校)

赤かぶの葉を使った料理は

山形大学農学部の研究発表会に参加し、赤かぶの葉に健康に良いポリフェノールが大変多く含まれていることが報告されました。赤かぶの葉を使った料理を、温海の観光の売り物に出来ないか検討していきたいと思えます。料理方法があったら教えてください。



山形大学農学部の研究発表

中山間地域に小型水力発電を

小型水力発電とは、中小河川や用水路など小さな高低差を利用した水力発電です。公共施設(公民館、外灯)や、地域産業(農業ビニールハウス、工場の電力の一部)に利用することが期待されます。また、余った電力については電力会社に売ることも可能です。この発電施設を温海地域に導入できないものか、鶴岡高専や山形大学の教授、及び企業経営者との研究会に出席し、勉強をしています。



研究会の様子

庄内の魚を内陸に

「おいしい山形の食文化を伝える会」や内陸の青「マス」関係者が、鼠ヶ間地区において、地産した魚の食べ方について研修しました。私は地元庄内の魚を内陸でたくさん食べてもらいたいと思い、この企画に企画して参りました。今回は多くの同じ考えの人と知り合え、意見交換できたことが最大の収穫でした。具体的な成果に結びつけるように、活動を続けたいと思えます。泉涌や漁協女性部の皆様には、大変お世話になりました。



地元産魚を使った調理実習

この報告書が届くのは初夏の頃かと思えます。季節の変わり目、皆様のご健康をお祈りいたします。これからも、地域課題に積極的に取り組みたいと思っております。皆様のご質問やご意見、ご要望をお寄せください。



温海地域の道路の現状視察
志田県議の調整により、県土整備部長、庄内総合支庁建設部長、鶴岡市建設部長、温海支所長をはじめ幹部職員が、温海地域の道路状況の視察を行いました。温海地域の国・県道は、二車線の確保が出来ないなど、整備の遅れている箇所が多く、安全で安心して通行できる道路整備は、地域住民の強い要望であります。今後も引き続き要望活動を続けていきます。

温海地域にアメリカの学生がホームステイ
文化や歴史を体験しながら日本語を習得する、新しい形の留学生研修制度を温海地区と鶴岡地区で行います。男子学生8名、女子学生4名が5月24日から6月4日まで温海地区で、6月5日から6月17日までは鶴岡地区でホームステイします。温海地区では、しな織り体験や、一徹焼き体験、摩耶山登山、歌舞伎体験、座禅体験、そば打ち体験、温海中学校、鼠ヶ間小学校の交流活動などを通じて温海の良さを知ってもらいたいと思います。私は温海プログラムを企画しました。ホームステイのご家族のご協力に感謝します。これからのまちづくりのキーワードは「多様な交流」だと思います。

各地の伝統文化の伝承
温海地域には、伝承されてきた伝統文化が多く存在します。それらは、地域の人々に大切に守られてきたものであり、地域の絆であり宝でもあります。

今年も盛大にさくらマラソンが開催
4月18日、第25回温海さくらマラソンが行われた。バルセロナオリンピックに出場した小嶋選手が参加した。次のオリンピックの出場を目指したいと熱く語っていたことが印象的でした。ママさんランナーである。